

茨城県で豚熱発生

3月1日、茨城県かすみがうら市の農場において、国内86例目となる「豚熱（CSF）」の発生が確認されました。

茨城県での豚熱発生は、令和4年4月の城里市での発生以来3例目となります。

環境中のどこにでも豚熱ウイルスが存在するという危機感を持ち、ウイルスを農場へ侵入させないよう、これまで以上の飼養衛生管理基準（畜舎周囲の消毒、長靴や衣服の交換、毎日の健康観察、野生動物侵入防止等）の遵守徹底をお願いします。

【発生農場の概要】

所在地：茨城県かすみがうら市 飼養状況：約2,200頭
疫学関連農場：千葉県匝瑳市(1農場約100頭)

【経緯】

- 茨城県は、2月28日、同県かすみがうら市の農場から、死亡豚が増加している旨の通報を受け、当該農場に立ち入り、病性鑑定を実施。
- 茨城県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門^(注)にて精密検査を実施。 (注)国内唯一の動物衛生に関する専門研究機関
- 3月1日：豚熱の患畜であることが判明。

【対応】

- 当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等の必要な防疫措置の実施。
- 農場の消毒や農場への野生動物の侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導の徹底。